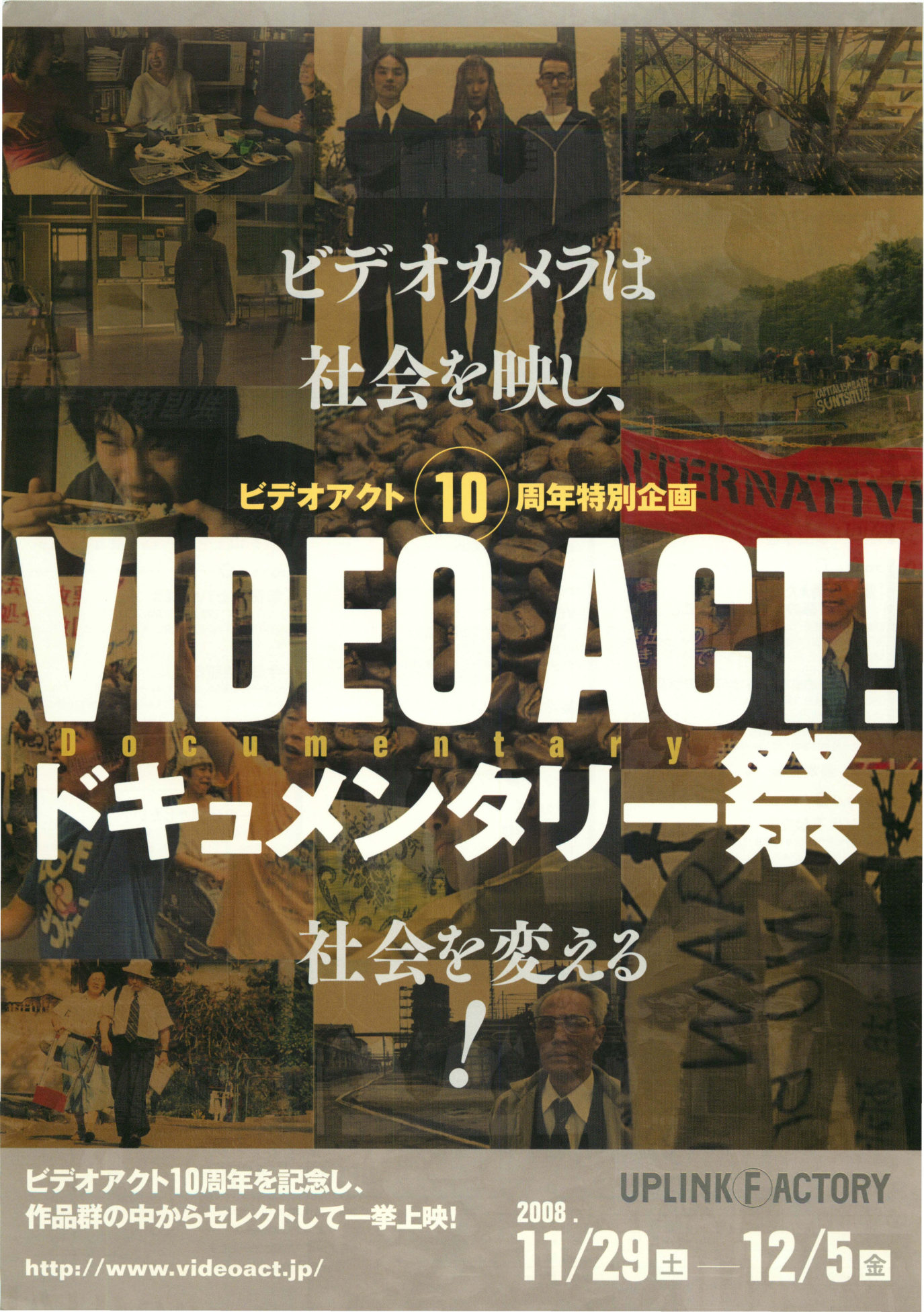




ビデオカメラは
社会を映し、

ビデオアクト 10 周年特別企画

VIDEO ACT!

D o c u m e n t a r y

ドキュメンタリー祭

社会を変える
!

ビデオアクト10周年を記念し、
作品群の中からセレクトして一挙上映!

<http://www.videoact.jp/>

2008 .

UPLINK F ACTORY

11/29 土 — 12/5 金

VIDEO ACT!

ドキュメンタリー祭

2008. 11/29 [土] — 12/5 [金]

自主制作ビデオの普及・流通をサポートする組織として1998年に発足。現在、約60のグループ・個人が参加し、ビデオカタログには180以上の作品を掲載している。定期上映会も40回を越え、インターネットでの動画配信も行なっている。目指すは、「作る・見せる・変える」。映像を伝えることで社会を変える、そんな刺激的な作品が多く集まっている。〈スタッフ・参加作品随時募集中!〉 <http://www.videoact.jp/>

VIDEO ACT! とは?

プログラム A

「ペットボトルの水」

◎監督: 鈴木敏明 (2007 / 31 分)

急激に売り上げを伸ばす、ペットボトルに詰められた水。「公共財」としての水を検証します。

「食べるためのマグロ 売るためのマグロ」

◎監督: 鈴木敏明 (2008 / 31 分)

日本人に最も好まれているマグロ。グローバルなマグロ産業から暮らしと環境を考えます。

「バイオ燃料 畑でつくるエネルギー」

◎監督: 鈴木敏明 (2007 / 31 分)

石油に代わる燃料として注目されるバイオ燃料。その原料は作物。世界中の人々の暮らしに与える影響とは?

プログラム B

「船、山にのぼる」

◎監督: 本田孝義 (2007 / 88 分)

ダム水没地で繰り広げられた「森の越し越」プロジェクト。その12年の軌跡を描く。

+トーク 本田孝義 (監督)

プログラム C

「憲法が消えた — 東京都の学校で起きたこと —」

◎監督: 湯本雅典 (2005 / 13 分)

今、「言論の自由」が学校から消えようとしている。教師自らの体験を描く。

「学校をやめろ—51才の僕の選択—」

◎監督: 湯本雅典 (2006 / 16 分)

非人間的な職場となった学校を辞めることにした教師。自らの「最後の授業」を描く感動作。
(他、湯本監督の短編3本上映あり)

+トーク 湯本雅典 (監督)

プログラム D

「君が代不起立」

◎監督: 松原明・佐々木有美 (2006 / 87 分)

「日の丸・君が代」の強制が進む東京都の学校。それでも君が代を歌わず良心を貫く教員たちの姿を描く。

プログラム E

「あきらめない—続・君が代不起立」

◎監督: 松原明・佐々木有美 (2008 / 75 分)

君が代不起立を貫く教員・根津公子さんに解雇の危機が…。カメラは「抵抗のドラマ」を映し出す。

+トーク 松原明 (監督)

プログラム F

「てれれセレクト 『コンドーム特集』、『2007』

◎7名の制作者 (2004 / 40 分)。8名の制作者 (2007 / 58 分)

大阪でカフェ放送などユニークな活動を続けている「てれれ」。「コンドーム」をテーマにした短編他を上映。

◎上映スケジュール

	14:30~	16:30~	18:30~	20:30~
11/29 [土]	プログラム A			
11/30 [日]	プログラム B +トーク	プログラム C +トーク	プログラム D	プログラム E +トーク
12/1 [月]			プログラム F	プログラム G +トーク
12/2 [火]		プログラム H	プログラム I	プログラム J +トーク
12/3 [水]		プログラム K	プログラム L +トーク	プログラム M +トーク
12/4 [木]			プログラム N +トーク	プログラム O +トーク
12/5 [金]			プログラム P +トーク	プログラム Q +トーク

プログラム G

「続・自由不平等」

(2008 / 約 60 分を予定)

何が飛び出すかわからない! VIDEO ACT! が送る 3 分ビデオの宴。テーマは「自由不平等」。作品募集中!

+トーク 製作者

プログラム H

「みなまた日記—甦える魂を訪ねて」

◎監督: 土本典昭 (2004 / 98 分)

本年 6 月に逝去された土本典昭監督の遺作。水俣病死者の遺影を集める旅で見つめた希望を描く映像日記。

プログラム I

「アリラン峠を越えて」

◎監督: 伊藤孝司 (2003 / 47 分)

朝鮮民主主義人民共和国 (北朝鮮) にも日本軍に性奴隷にされた人がある。現地取材で描く貴重な記録。

「銀のスッカラ」

◎監督: 伊藤孝司 (2006 / 45 分)

北朝鮮に住むユンさんは戦時中、日本によって工場に連行された。母はスッカラ (スプーン) を渡した…。

プログラム J

「VIDEO ACT! 反戦プロジェクトRe-Mix」

2001年9・11後、戦争に突き進むアメリカに対して「No」の声が沸きあがった。VIDEO ACT! は急遽、動画配信サイトを立ち上げ、反戦の動きを伝え続けた。

「基地はいらない、どこにも」

◎監督: 小林アツシ (2006 / 46 分)

沖縄・辺野古を中心に全国の米軍基地で起きている問題と住民の抵抗の姿を描き出す。

+トーク 小林アツシ (監督)

プログラム K

「新しい神様」

◎監督: 土屋豊 (1999 / 99 分)

主人公・雨宮処凜がブレイクするきっかけになった話題作。初期VIDEO ACT! を代表する作品でもある。

プログラム L

「幽閉者たち」

◎監督: 土屋豊 (2007 / 83 分)

足立正生35年ぶりの監督作として話題となった「幽閉者」。本作はそのメイキング映像。

+トーク 土屋豊 (監督)

プログラム M

「G8メディアネットワーク活動報告」

本年7月に北海道・洞爺湖で開催されたG8サミット。反グローバリズムを掲げるNGOが世界中から集まった。しかし、マスコミはそうした活動を伝えなかった。インディペンデント・メディアだからこそ伝えられたことは?

+トーク 白石草 (OurPlanet-TV代表)
× 土屋豊 (VIDEO ACT! 代表)

プログラム N

「知っておこう! 女性の年金」

◎監督: エンドウプリコ (2008 / 18 分)

明るく楽しく学べる年金ビデオ。特に「離婚による年金分割」を女性の立場から紹介。

「30年のシスターフッド 〜70年代ウーマンリブの女たち〜」

◎監督: 山上千恵子・瀬山紀子 (2004 / 57 分)

1970年代、日本のウーマン・リブを生きたおんなたち。彼女たちが開いた道とその現在とは。

+トーク 山上千恵子 (監督)・瀬山紀子 (監督)

プログラム O

「新宿路上TV vol.3」

◎プロデュース: 遠藤大輔 (1995 / 30 分)

新宿地下通路で野宿労働者とともに作られたコミュニティテレビ。

「今日も焙煎日和」

◎監督: 飯田基晴 (2007 / 45 分)

「ホームレス状況」にある人々を手助けするNPOもやい。ここで素人がコーヒーの焙煎に挑戦した。

+トーク 遠藤大輔 (プロデューサー)
+ 飯田基晴 (監督)

プログラム P

「フツの仕事がしたい」

◎監督: 土屋トカチ (2008 / 70 分)

月552時間にも及ぶ労働時間。皆倉さんはユニオンの扉を叩くが、待っていたのは執拗な脱退工作だった…。

+トーク 土屋トカチ (監督) × 雨宮処凜 (作家)

プログラム Q

「遭難フリーター」

◎監督: 岩淵弘樹 (2007 / 67 分)

日雇い派遣で働く岩淵は自らにカメラを向ける。生きること遭難した彼の出口はどこにあるのか?

+トーク 岩淵弘樹 (監督) + 雨宮処凜 (作家)

料 金 一般:1200円 学生・シニア:1000円 中学生以下:800円 (当日のみ、水曜日は一般の方も1000円)
3回券:3000円 5回券:4800円 フリーパス:7000円 (UPLINK FACTORYにて販売中)
[各回入れ替え制]

問い合わせ: ビデオアクト TEL03-5496-7088 info@videoact.jp

UPLINK FACTORY

渋谷区宇田川町37-18 ツツネビル1F

TEL .03-6825-5502

(渋谷東急本店右側200m先右手)

<http://www.uplink.co.jp>

